

令和2年度における各構想区域の地域医療構想推進委員会の取組について

1. 各構想区域の開催状況

- 令和2年度における各構想区域の地域医療構想推進委員会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、**委員会の中止や書面による開催**を行った。
- 委員会の開催方法は、議題の内容や、新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮し、**事務局（保健所）が、委員長（地区医師会長）と相談して、地域ごとに判断した。**
 <各構想区域の開催状況>

	名古屋・尾張中部	海部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部
第1回	書面	対面開催 (8月17日)	書面	対面開催 (9月9日)	書面	書面	書面	対面開催 (2月22日)	書面	書面	対面開催 (9月9日)
第2回	書面			対面開催 (1月29日)	書面	書面	書面		対面開催 (2月17日)	書面	書面

2. 主な議題の協議状況

- 各構想区域の委員会の中で、特に重要な議題がある場合には、感染防止対策を万全に行った上で、対面開催を実施しており、主な協議内容は以下のとおり。

構想区域	概要	結果
海部	○ 管内公立・公的3病院が、「公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等作業部会」を設置し、地域における役割等に関して検証を実施。	○ 作業部会において、管内公立・公的3病院の役割の確認を行った結果が、地域医療構想推進委員会で報告された。 ○ また、 津島市民病院は、88床を削減して病床を440床から352床にダウンサイジングし、あま市民病院は、休棟45床を回復期病床として再稼働 していく方向性を示し、了承。
西三河南部東	○ 令和3年4月に医療法人愛整会北斗病院の開設者を、学校法人愛知医科大学へ変更 するプランが提出された。	○ 委員から「地域における患者層の棲み分けをきちんと行ってほしい。」等の意見が出されたが、 開設者変更等の方向性について了承。 (2025年における病床機能は、現状の北斗病院と変更しない予定。)
西三河南部西	○ 碧南市民病院は、独自の経営改善策として病床数を64床削減し、319床から255床に変更する方針を公表。 ○ これに伴い、 安城更生病院は、公的病院等の再編統合に係る特例制度 を利用し、 碧南市民病院が削減する64床のうち一部を、安城更生病院に移動させる計画を提出。	○ 公的病院等の再編統合に係る 特例制度を利用した病床整備について、今後、厚生労働省へ事前協議を行っていくことを了承。 ※ 本特例は、病床過剰地域においても、公的病院等の再編統合を行う場合、再編後の病床数の合計が再編前より下回っており、かつ、厚生労働省が認めるときは、病床整備が可能となる制度。

3. 再検証要請医療機関の協議状況

- 令和2年1月17日付けで、厚生労働省医政局長より、急性期の病床を有する公立・公的医療機関等のうちから再編・統合について再検証の要請対象となる医療機関を選定し、再検証の要請通知が発出された。
- その後、令和2年12月25日付けで、厚生労働省医政局医療計画課長より、再検証要請対象医療機関の追加や民間医療機関の分析を含め、内容を確定した旨の通知が発出された。
- 本県では、**再検証要請対象の12病院について、各構想区域の地域医療構想推進委員会で順次協議を行っており、現在の協議状況は下表のとおり。**

<参考 県内12病院における再検証の検討状況> (令和3年2月1日現在)

	構想区域	医療機関名	協議状況
1	名古屋・尾張中部	中日病院	・急性期病床42床を、回復期病床に転換
2		国立病院機構 東名古屋病院	・2018年に408床から330床に削減したことをもって、既に対応済であることを地域の関係者で確認 ・神経難病、重症心身障害児者、結核等の患者の受け皿としての病院の特性を確認
3		ブラザー記念病院	・2018年に急性期病床30床を廃止済であることを地域の関係者で確認
4	海部	津島市民病院	・病院全体で440床を352床にダウンサイジング
5		あま市民病院	・休棟45床を、回復期病床として再開
6	尾張西部	一宮市立 木曾川市民病院	・急性期病床90床を82床にダウンサイジングし回復期病床に転換
7	尾張北部	医療療育総合センター 中央病院	・2018年に急性期病床110床から89床に削減したことをもって、既に対応済であることを地域の関係者で確認 ・障害者医療に特化している特性を確認
8	西三河北部	みよし市民病院	・急性期病床68床を、急性期病床34床及び回復期病床34床に転換
9	西三河南部西	碧南市民病院	・一定数以上の救急車受入実績を有する5病院（安城更生病院、刈谷豊田総合病院、碧南市民病院、西尾市民病院、八千代病院）で連携協定を締結 ・今後、急性期病床64床のダウンサイジングを行う計画について、地域医療構想推進委員会において協議予定
追加追加	尾張西部	厚生連 稲沢厚生病院 稲沢市民病院	・両病院の連携のあり方について、現在事務レベルで協議中 ・今後、病院間の連携を含め、地域医療構想推進委員会で協議予定
追加	知多半島	常滑市民病院	・「半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議」において、経営統合の形態を地方独立行政法人とすることが決定 ・今後、診療科の分担等に関して継続して検討を行い、統合会議の検討結果を地域医療構想推進委員会で確認予定